

## 賛否が分かれた議案等に対する各議員の賛否の状況

| 会 派  | 市民クラブ |      |       |      |       |       |       | 自由クラブ |       |       | 公明党   |       | 日本共産党 |       |       |       | ※1    | ※2    | 議長    |       |
|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 氏 名  | 萩野 義和 | 山口 学 | 久保 和昭 | 小松 孝 | 爲近 初男 | 山本 芳男 | 甲藤 邦廣 | 村田 珠美 | 島岡 信彦 | 小松 紀夫 | 舟谷 千幸 | 比与森光俊 | 笹岡 優  | 森田 雄介 | 濱田百合子 | 山崎龍太郎 | 大岸 眞弓 | 山崎 晃子 | 依光美代子 | 利根 健二 |
| 発 議  | 第3号   | ○    | ○     | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ×     | ×     | 欠     | ×     | ○     | ○     | -     |
| 意見書案 | 第10号  | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○     | ○     | ○     | -     |
|      | 第11号  | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ○     | ○     | ○     | 欠     | ○     | ○     | ○     | -     |

会派欄の※1は「くらしと福祉を守る会」、※2は「香美市をよくする会」。

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「-」は議長につき採決に加わらず。

### 12月定例会議

## 議員定数減を賛成多数で可決

### 議員発議第3号

香美市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

香美市議会議員の定数条例の一部を次のように改正する。

本則中「20人」を「18人」に改める。

### 発議者 小松紀夫議員

#### (提案理由)

議員定数を2人削減した場合、年間約890万円の財源削減となり、コロナ禍により影響を受けた市民に有効活用してほしい。そのためにも議会も自ら身を切る必要があるのではないかと。

また、近隣の香南市は定数19人、人口規模の大きい南国市は定数21人である。

議会運営において、2人減の18人となっても支障はないと認識する。

議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例は、14対4の賛成多数で可決されました。賛成・反対の討論がありましたので、以下に掲載します。

### 賛成討論(要約抜粋) 萩野義和 議員

本市においても、将来を見据えた財政見直しや人口の推移、他自治体の動向を踏まえながら、議員定数についても見直しを図る必要がある。

議員数の多さが、より多くの住民の意見を反映するとの考え方を改め、いかにして自らの質を高め、民意を効果的に反映させるかを基本に、議員自らが重い決断をもって身を切ることが、議会改革のひとつの形と考える。

このようなことから、議員定数を減ずる本案に賛成する。

### 反対討論(要約抜粋) 笹岡 優 議員

議員定数問題を考えるとき、外してはならないのが地方自治の二つの役割、団体自治と住民自治だ。この住民自治の直接の窓口が地方議員ではないか。

地方自治法第91条では「人口1万人から2万人未満で26人、2万人以上5万人未満で30人」と法定数を定めている。

近隣の、南国市や香南市の行政面積を議員一人当たりで割ると、9km以下だが、本市は3倍以上の29kmにもなる。

コロナ禍で市民は苦しんでいる。急峻な中山間地を抱える本市において市民の声を日常的に聞き、市政に届けることが今、特別に重要となっている。定数減は、住民自治の縮小、議会の機能を弱体化させる方向であることを指摘して討論とする。